



ORVIS

第67期 中間報告書

2025年11月1日～2026年4月30日

株式会社オービス 証券コード:7827



株主の皆様には、格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。  
 第67期中間連結会計期間の概況をご報告させていただきます。  
 主力の木材事業において、中国経済が大幅な調整局面に入中、中東地域における地政学リスクが新たに加わるなど、総じて厳しい事業環境となりました。このような環境のもと、引き続き為替動向等の外的要因を受ける外国産材から仕入価格の安定している国産材への切替え営業をさらに強化し、工場稼働率の維持に努めました。  
 ハウス・エコ事業において、大型案件の受注が相次ぎ受注残高は過去最高となりましたが、当中間期は予定していた大型案件の失注・延期や着工の遅れから営業赤字となりました。一方、重点施策である優秀な人材の採用は、計画どおり順調に推移しています。今後、人材育成を通じた従業員の能力向上をさらに図り、目標に果敢に挑戦する活力ある企業グループを目指します。  
 株主の皆様におかれましては、今後ともより一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役社長 中浜 勇治

業績ハイライト

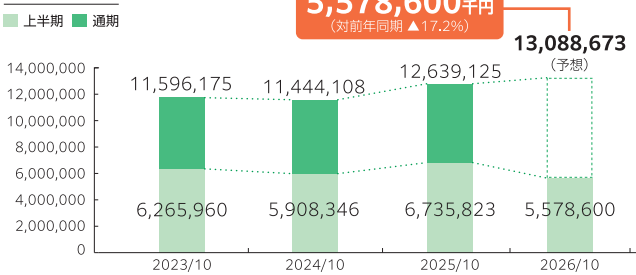
POINT 01

上半期は人材の採用に伴う人件費等の増加に対して、売上高の減少及び利益率の低下により固定費を吸収するに至らず、大幅な減収減益となりました。

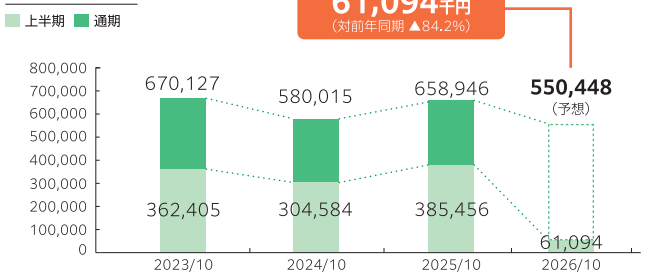
POINT 02

通期連結業績につきましては、ハウス・エコ事業の豊富な受注残高に加え、第3四半期以降、木材事業の収益性が大幅に改善(減価償却負担の減少等)することから、据え置いております。

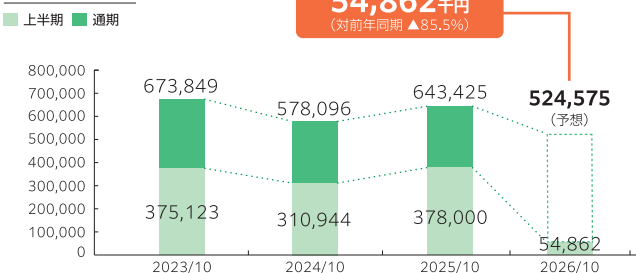
売上高 (千円)



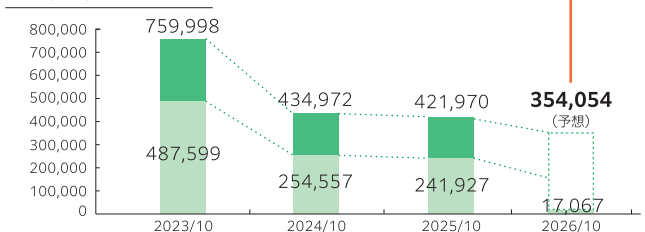
営業利益 (千円)



経常利益 (千円)



中間(当期)純利益  
又は親会社株主に帰属する  
中間(当期)純利益 (千円)



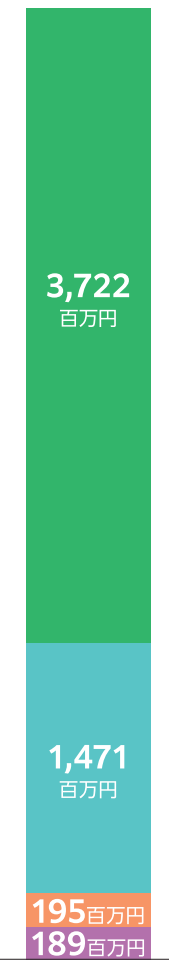
※当社は2024年10月期第2四半期決算より連結決算に移りました。従いまして2023/10は個別数値(参考情報)を、2024/10、2025/10、2026/10は連結数値をそれぞれ記載しております。

# セグメント別概況

## 売上高

2026年度(上半期)

5,578百万円



## 営業利益

2026年度(上半期)

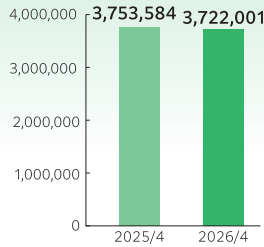
61百万円



全社費用等  
▲183百万円

## 木材事業

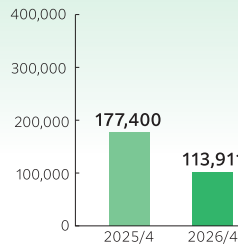
### 売上高



2026年度(上半期)  
**3,722,001千円**  
(対前年同期 ▲31,582千円) ↓

2026年度(予想)  
**7,283,287千円**  
(対前期 ▲159,628千円) ↓

### 営業利益



2026年度(上半期)  
**113,911千円**  
(対前年同期 ▲63,489千円) ↓

2026年度(予想)  
**380,091千円**  
(対前期 79,010千円) ↑

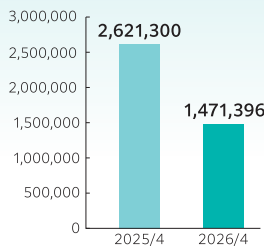


完全週休二日制の導入により工場稼働日が減少したことに加え、中東情勢の緊迫化による梱包マーケットの低迷を受けて前年同期比約5%の減産となり、減収減益となりました。

引き続き厳しい事業環境が見込まれる中、既存顧客の潜在需要の開拓に注力します。なお、2018年6月に取得した製材機械の減価償却が終了するため、収益性が改善します。

## ハウスのエコ事業

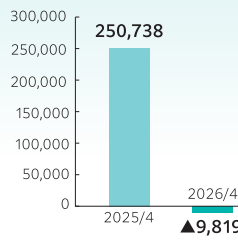
### 売上高



2026年度(上半期)  
**1,471,396千円**  
(対前年同期 ▲1,149,904千円) ↓

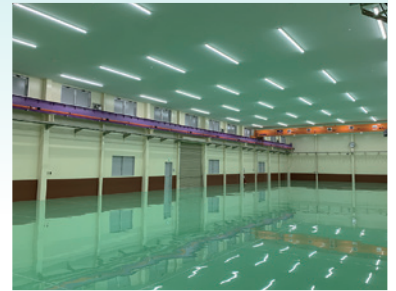
2026年度(予想)  
**4,939,676千円**  
(対前期 582,042千円) ↑

### 営業利益



2026年度(上半期)  
**▲9,819千円**  
(対前年同期 ▲260,558千円) ↓

2026年度(予想)  
**231,797千円**  
(対前期 ▲119,674千円) ↓

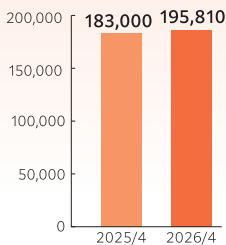


人員増強により営業体制を強化し、大型案件の受注や多くの引き合いを獲得しましたが、大型案件の失注・延期や着工遅れに加え、人件費を中心とした販管費増加により、減収・営業赤字となりました。

3Q以降、足元の低迷している重量鉄骨分野への営業を強化し、大幅な計画未達に終わった2Q(累計)の挽回を期するため、同分野での大型案件の受注獲得を目指します。

## 太陽光発電売電事業

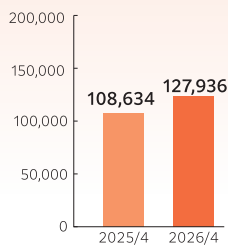
### 売上高



2026年度(上半期)  
**195,810千円**  
(対前年同期 12,810千円) ↑

2026年度(予想)  
**449,460千円**  
(対前期 ▲6,675千円) ↓

### 営業利益



2026年度(上半期)  
**127,936千円**  
(対前年同期 19,302千円) ↑

2026年度(予想)  
**265,320千円**  
(対前期 ▲37,007千円) ↓

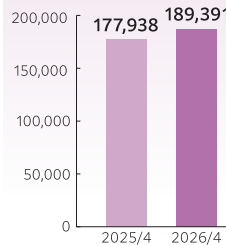


天候に恵まれ発電量が増加したことに加え、減価償却費の減少により、増収増益となりました。

系統連系して10年経過する発電所に対して、パワコンなど大規模修繕を行い、発電効率向上と安定稼働維持に努めます。

## ライフクリエイト事業(ゴルフ場)

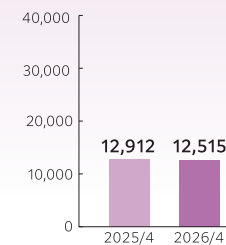
### 売上高



2026年度(上半期)  
**189,391千円**  
(対前年同期 11,453千円) ↑

2026年度(予想)  
**416,250千円**  
(対前期 33,809千円) ↑

### 営業利益



2026年度(上半期)  
**12,515千円**  
(対前年同期 ▲397千円) ↓

2026年度(予想)  
**61,420千円**  
(対前期 11,765千円) ↑



開場50周年ロングランコンペ等の実施により、来場者数は前年同期比で微増となりました。

アメニティグッズの充実やコース整備など施設の魅力向上を通じて若年層や女性客の獲得を目指します。

※営業損益につきましては、全社費用等配分前で記載しております。

TOPICS

1

## 外国産材・エンジニアウッド<sup>※</sup>から国産材への切替えをさらに加速

※木材を人工的に加工・接合してつくられた製品 (LVL・集成材・合板等)

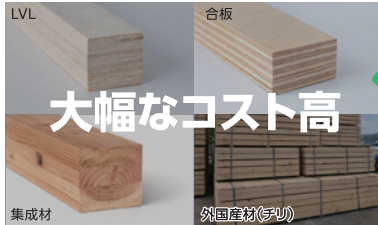
不安定な市場環境を契機に、当社は国産材への切替えを後押しする提案で新たなビジネスチャンスを生み出します。

梱包業界をとりまく昨今の情勢

中東情勢の緊迫化



- ⚠️ 海上輸送費上昇
- ⚠️ 円安常態化
- ⚠️ 接着材供給不安・価格上昇



オービスの取り組み

提案型営業を強化  
国産材への切替えを促進



CHANGE!

- 新規顧客の開拓
- 休眠顧客の掘り起こし

TOPICS

2

## 国産杉の循環利用で進む持続可能な森林づくりとCO<sub>2</sub>削減

当社では素材を扱う企業としての事業に加え、健やかな森林の維持に貢献しています。壮齢の国産杉の活用や木材の有効利用など、当社が取り組む環境配慮の姿勢をご紹介します。

オービスの貢献①

壮齢木の活用で森林循環促進!

杉のCO<sub>2</sub>吸収量は若い木の方が多く、当社ではCO<sub>2</sub>吸収量がピークの3割に落ちる壮齢木を有効利用し、健全な森林循環を支えています。

■樹齢別炭素吸収量(イメージ)



オービスの貢献③

年間7万トン以上の炭素を固定化!

木材は炭素の缶詰と呼ばれ、燃やされるまでCO<sub>2</sub>を貯蔵してくれます。当社では杉丸太を余すところなく製材し年間74,860t-CO<sub>2</sub>の固定化を実現しています。



オービスの貢献②

毎年東京ドーム約63個分の森林の若返りに貢献!

CO<sub>2</sub>吸収量が減少した壮齢木を活用することで森林全体のCO<sub>2</sub>吸収量が増加。毎年東京ドーム約63個分の森林が若返り、増加したCO<sub>2</sub>吸収量は74,665t-CO<sub>2</sub>にのびります(算定期間50年)。

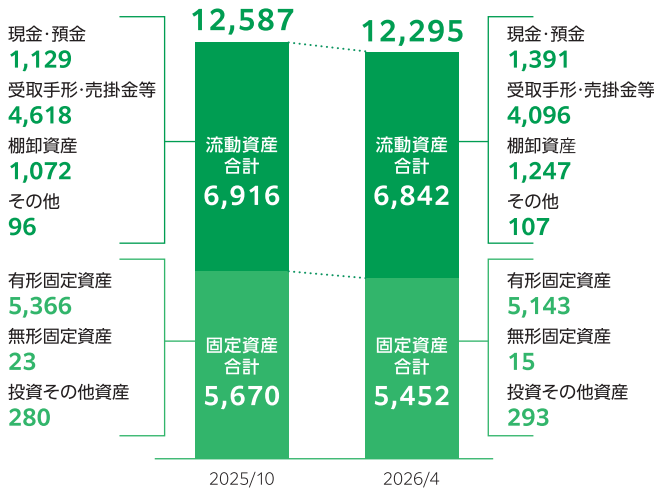
オービスの貢献④

固定化できる炭素は年間約30,300世帯分

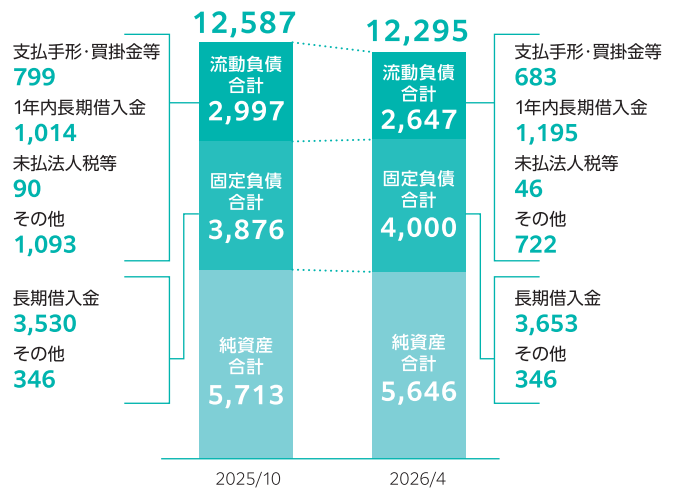
木材の利用によりおよそ30,300世帯の年間CO<sub>2</sub>排出量を固定化しています。

# 連結貸借対照表の概要

## 資産の部 (百万円)



## 負債及び純資産の部 (百万円)



## 株式の状況

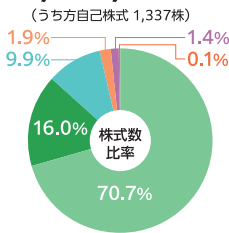
(2026年4月30日現在)

### 株式・株主 分布状況

#### 発行済株式の総数

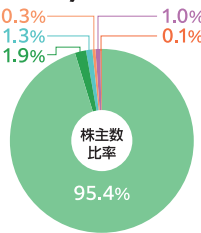
1,783,006株  
(うち方自己株式 1,337株)

- 個人
- その他国内法人
- 証券会社
- 金融機関
- 外国人
- 自己株式



#### 株主数

1,546名



## 大株主 (上位10位)

(2026年4月30日現在)

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
中浜 勇治	440,241	24.71
(株)和 幸	164,300	9.22
(株)SBI証券	100,788	5.66
藤井 實	59,400	3.33
宇藤 秀樹	52,000	2.92
肥田 亘	50,000	2.81
山本 康司	45,000	2.53
大阪中小企業投資育成(株)	44,000	2.47
楽天証券(株)	38,100	2.14
鹿野産業(株)	36,900	2.07

(注)持株比率は、自己株式1,337株を控除して計算しています。

## 会社概要

(2026年4月30日現在)



商号	株式会社オービス
設立	昭和34年(1959年)11月
資本金	715,956,508円
従業員数	201名 (外、平均臨時雇用者23名 ※1日8時間換算)
本社所在地	広島県福山市松永町六丁目10番1号
監査法人	有限責任 あずさ監査法人

## 役員

(2026年6月12日現在)

代表取締役社長	中浜 勇治
専務取締役	梅田 孝史
常務取締役	谷本 泰
取締役	井上 清輝
取締役	土田 光典
取締役	川岡 公次
取締役	玉田 龍治
取締役(社外)	小山 幹夫
常勤監査役(社外)	松村 清治
監査役(社外)	長井 紳一郎
監査役(社外)	近藤 哲英

## 株主メモ

事業年度	毎月11月1日から翌年10月31日まで
定時株主総会	毎年1月開催
一単元の株式数	100株
基準日	定時株主総会 毎年10月31日 期末配当 毎年10月31日 中間配当 毎年4月30日
公告の方法	電子公告とします。ただし、事故その他やむを得ない事由により、電子公告によることができない場合は、日本経済新聞に掲載する方法で行います。 【公告掲載URL】 <a href="https://orvis.co.jp/ir_advertising/">https://orvis.co.jp/ir_advertising/</a>
上場証券取引所	東証スタンダード市場
株主名簿管理人及び特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目3番3号 みずほ信託銀行株式会社
(郵便物送付先)	〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)	☎0120-288-324